

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	騒音・振動対策事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び事業所	意図	騒音及び振動を防止し、市民の生活環境を整える。
事業内容	騒音及び振動の測定並びにその発生源への指導を行うことにより、市民の健康で安全かつ快適な生活環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	これまでは、工場等の事業所や建設工事、自動車の交通騒音及び振動の問題が多かったが、それらに加え、現在は、店舗や近隣住民が出す騒音も問題になりつつある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	特定建設作業に係る届出件数	448	394	445	件	↑↑↑
②	特定施設の設置届出件数	5	5	28	件	↑↑↑	
③	道路騒音・振動調査	8	8	8	件	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市内における「特定建設作業に係る届出」の数については均衡しているが、特定施設が増加傾向にある。今後とも都市開発が進む中、良好な住居環境の確保に努めるために、事業者や市民の騒音・振動に対する意識の向上と理解を図る。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,197,770	3,087,338	3,386,644			
事業費(b)(円)		1,800,370	1,705,338	1,880,644			
うち一般財源		1,800,370	1,705,338	1,880,644			
職員給与費(c)(円)		1,397,400	1,382,000	1,506,000			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組の課題	特定建設作業にかかる届出増加に対応するための事務作業の効率化。
②今年度(H27)に実施した取組	特定施設の電子記録の簡略化。	④今後の改善計画	開発行為増加に伴う騒音・振動測定調査の需要の高まりに応じて、職員の騒音・振動問題への対応力の向上。